

## 環境問題と持続可能な開発について考える視座

今後のあるべき環境政策を考える際、例えば次の視点からアプローチできないか

- 1 様々な人間活動と環境との関わり
- 2 環境問題への取り組みの多様化
- 3 国際的なつながりの中での環境

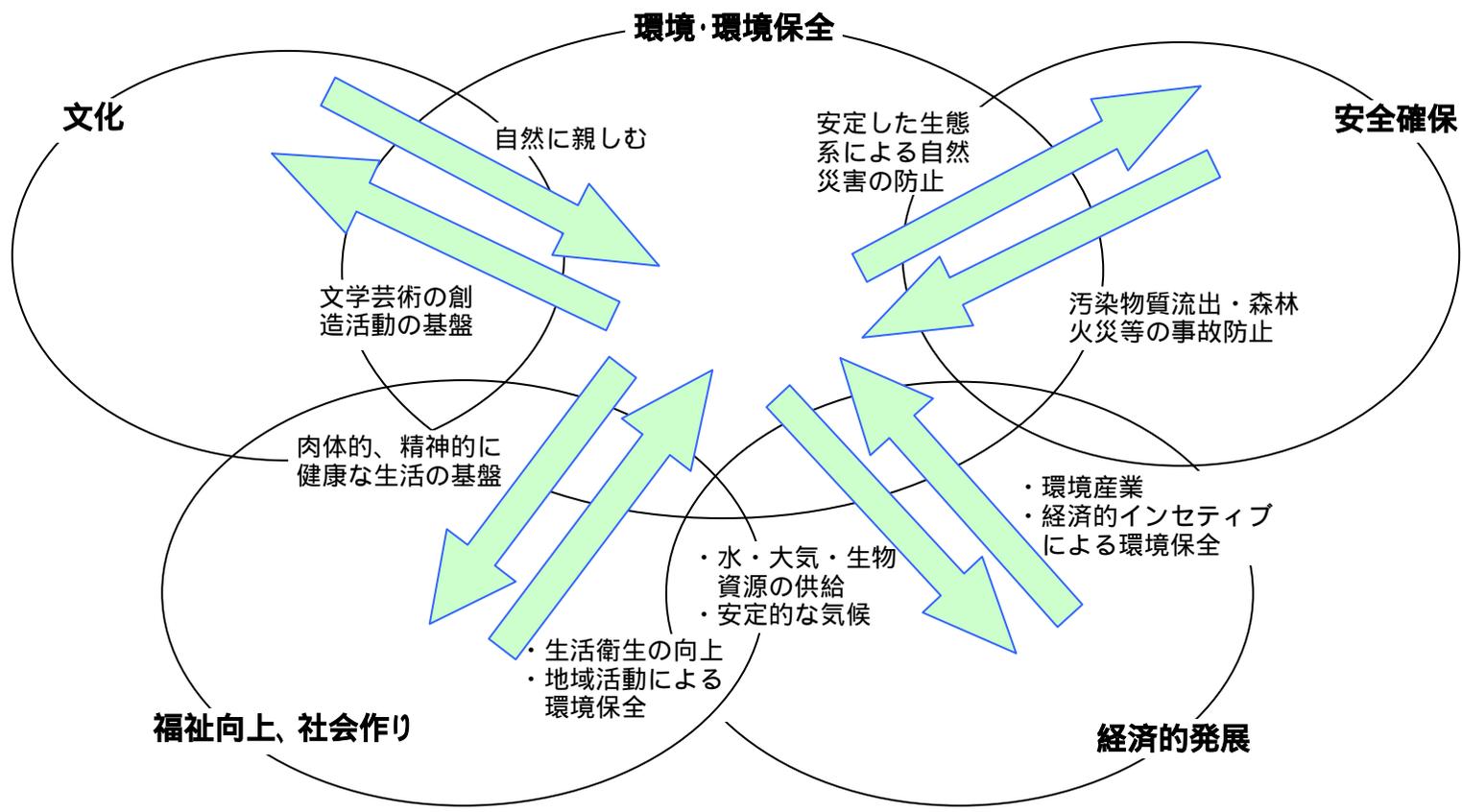
# 1. 様々な人間活動と環境との関わり

生活を豊かにするための様々な価値



環境やその保全のための活動は、こうした価値を実現するための人間活動と相互関連するもの

人の生活を豊かにする価値の例	安全確保	.....	生命, 財産への侵害の防止	} 相互に関わり合う
	福祉向上, 社会作り	.....	人間らしい生活のための社会的・地域的基盤	
	経済的発展	.....	物質的な豊かさの追求	
	文化	.....	個人/地域/国における精神的財産	
	環境, 環境保全	.....	よりよい環境の中で生きる/生存, 発展の前提条件	



## 2. 環境問題への取組の多様化

課題の広がり

1960年代: SOxによる喘息、カドミウム・水銀による中毒、個別の開発行為による自然破壊

典型7公害、自然の減少

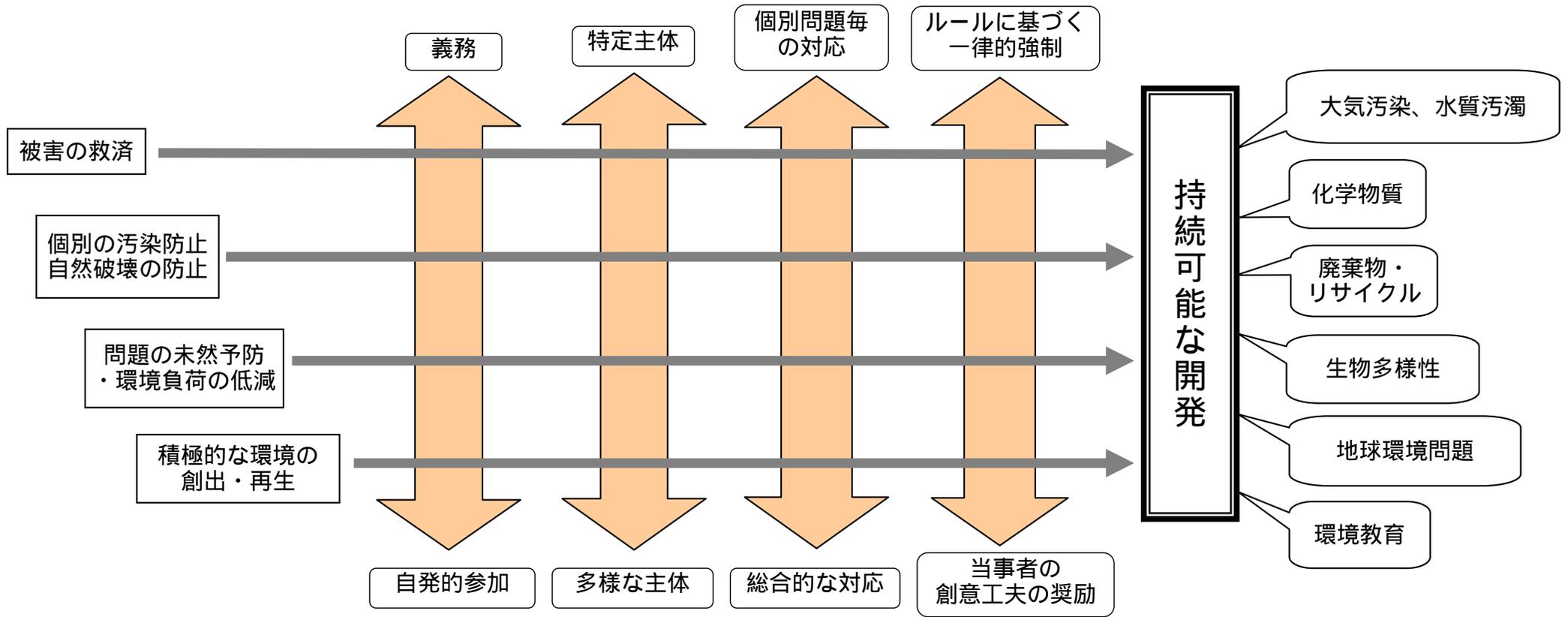
多様な問題への対応 = 汚染、化学物質、廃棄物・リサイクル、生物多様性、地球環境問題、環境教育

取り組み手法の拡大

被害救済 / 個別汚染の防止 / 問題の未然予防 / 積極的な環境の創出・再生

取組の在り方

・義務	自発性・自主性	・個別問題毎の対応	総合的な対応
・特定主体	多様な主体	・強制	創意工夫



### 3. 国際的なつながりの中での環境

#### 環境問題の国際的取組の視点

- ・地球的規模の環境問題の深刻化
- ・国際経済活動の拡大、グローバル化
- ・途上国の発展、貧困問題

環境政策として  
どう受け止めるか

#### 我が国の役割

地球的規模の環境問題についての国際的取組への主導的役割  
財、サービス、情報、資金の国際的な流通の拡大への対応  
主に途上国における持続可能な発展の実現

